

第六次猪名川町総合計画策定に向けたまちづくりワークショップ

みんなでワイワイ  
話し合おう！

# いながわの未来

## 第5回 まちづくりワークショップ

～前回まとめた「まちの将来像」をブラッシュアップし、  
その実現に向けたみんなの関わり方を考え・共有しよう。



第5回まちづくりワークショップでは、第4回でまとめた「いながわの未来（まちの将来像）」を振り返ったあと、マンダラート（詳細は次頁参照）を活用して、まちの将来像をさらに具体化しました。



また、「まちの将来像」の実現に向けた参加者みんなの関わり方を考え、班ごとに整理し、その結果を、全体で共有するために、班ごとにプレゼンテーションを行いました。

各班独自で大きく、そして自由に広げられたアイデア、将来のまちのイメージに関するプレゼンは、各テーブルに集まって「ワイワイ・ガヤガヤ」♪



概要 日時：2019年1月22日（火）19:00～21:00

会場：猪名川町文化体育館 会議室

### プログラム

前回の振り返り＋今日の目的の説明

グループワーク

1. マンダラートで「いながわの未来」をブラッシュアップ、実現に向けた関わり方を考えよう
2. 「いながわの未来」と実現に向けた関わりを共有しよう（各班で話し合った内容をプレゼン）

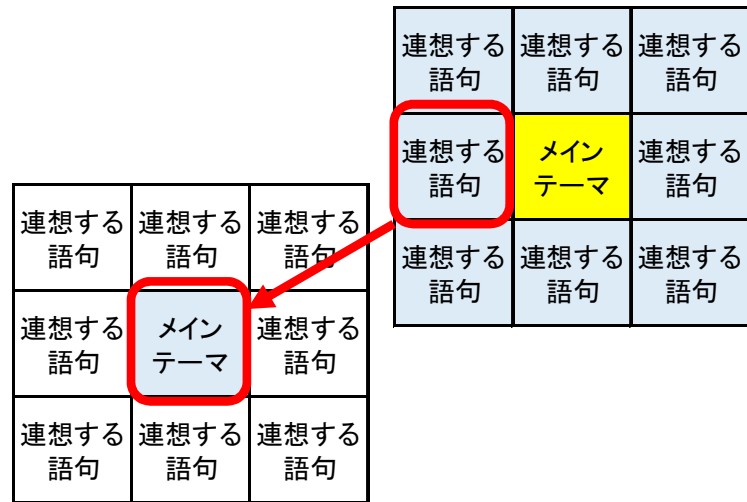
# 1. マンダラートで「いながわの未来」をブラッシュアップ、実現に向けた関わり方を考えよう

まずは、前回整理した「いながわの未来」を再確認し、各人でその内容をブラッシュアップ。同時に「いながわの未来」を実現するための関わり方を考えました。

今回は、アイデアを広げて整理するために、「マンダラート」という手法を用いて進めて行きました。

このステップを踏むことで、「いながわの未来」がより具体化され、その実現に向けた関わり方が整理されました。

さらに、各人で考えた結果を班で共有し、班毎にアイデアをまとめていきました。



マンダラートとは

- ◆ 3×3の9マスの正方形にテーマを書き込むことで、アイデアを広げていく発想法です。
- ◆ 9マスの真ん中にメインテーマを書き込み、メインテーマから連想する語句をその周りの8マスに書いていきます。
- ◆ さらに、周りの8マスに書いた語句をメインテーマにおいて、そのメインテーマから連想する語句を書いていくことで、アイデアを広げ、具体化していきます。

# 2. 「いながわの未来」と実現に向けた関わり方を共有しよう

後半は、各班で、ブラッシュアップした「いながわの未来」と実現に向けた関わり方を整理した結果を全体で共有するために、プレゼン大会を行いました。

各班のテーブルに参加者が全員集合。各班独自のマンダラートで広げられたアイデア、具体化されたアイデアがプレゼンされました。

※以下に、発表順で各班の結果を整理します。

**D班**

## つながりを強化して、地域の底力をアップし、観光交流へつなぐ



- 地域の中にいる人たちが、自分たちの地域を良く知って、つながって、地域の中からの力がアップしていけば、周りにしみ出す様に情報や良い所が広がっていくと思う。そこに人々が集まってくる。
- 地域の底力をアップするためには、いろいろな人たちが専門的な知識を持ち合わせたり、地域のことをもっと知って、地産地消など地域の中でまわしていく、つながっていくということが基盤になる。
- 地域の中でつながっていくことで、それぞれ地域の中にどんなものがあるのか、地域住民のみんなが自覚していく。すると、自分たちが地域のよいところをPR・発信する力も増えてくる。それが、観光名所の開発や、「こんなことしたら人に来てもらえるかも」というアイデアにつながる。

## A班

### 人が集まる環境づくり、地域の人だけではなく専門家にも参加してもらう！

- 下準備として高齢者や子どもを主体とした取り組みを行うことで、人が集まるようになる。人が集まるようになると、サービス業の拡充やエンターテイメントなどが充実するようになる。
- 具体的に人の集まる環境整備を行う場合には、専門性のある人を集める窓口を作って、期間限定でいいからオーソリティを呼んでくる。身内だけで考えていても、動きが止まってしまうのではないかと思う。専門家に参加してもらい活動にスパイスをきかせてもらって、方向性が出てきたら、もうちょっと動けるのではないか。



## B班

### 「住みやすい町 猪名川」に向けて・・・



- 住みやすい町のサブテーマは「高齢者が元気になる」「人を増やす」「文化的なセンター施設の整備」「インフラの改善（交通）」「地域住民による見守り」「町民同士の情報交換」！
- 他のグループにはないポイントとして「高齢者が元気になる」ためには何をしたらいいのかについて意見を出した（以下、具体例）。
  - 高齢者の共同作業ができるような場所を作る（例えば、園芸、畑があがっているが、これだけではなく色々とコミュニケーションを図る場所や活動）。
  - 健康増進の学習に取り組む機会を増やす。
  - ボランティアに取り組みやすい仕組みをつくる

- 「住民同士の情報交換」としては、気軽に住民が参加できるワークショップを開催。

## E班

### 「住んでみたいと思える地域」のポイントは！

- ポイントは「人が集まる」「教育」「程よい自然」「仕事」「食」「医療」「ゆとり」が挙げられた。
- 「程よい自然」について、あまり田舎すぎると住めない、猪名川町は都心にも近く、程よい距離感、程よい自然が残っているというのが売りだと思う。自然を生かした観光、温泉、四季それぞれのイベントが企画できれば！
- 「ゆとり」については、住環境のゆとりの話が出た。キーワードで出たのが「薪ストーブ」。薪ストーブのある家に憧れている方に、猪名川にあれば薪ストーブの家に住めますよとアピールができればいい。



## 次回以降について

次回以降のまちづくりワークショップについて、開催日程が以下の様に決まりました。

第6回  
2/5

### テーマに関連する事例・情報を共有しよう！

第5回で設定したテーマに関連する他自治体等での先進事例、関連する制度等など、今後、話し合っていくために必要な情報等を共有します。

第7回  
2/19

### それぞれのテーマを深掘りしてみよう！

テーマに関係する猪名川町の「強み」「弱み」を整理し、テーマにおける10年後の猪名川町の目標を整理します。

第8回  
3/5

### 総合計画基本構想をみてみよう！

今まで話し合ってきた内容が総合計画基本構想にどのように反映されているかを確認します。

後期へ

第6回 テーマに関連する事例・情報を共有しよう！

日時：2月5日(火) 19:00~21:00 会場：猪名川町文化体育館 会議室

第7回 それぞれのテーマを深掘りしてみよう！

日時：2月19日(火) 19:00~21:00 会場：猪名川町文化体育館 会議室



## 参加者の感想

具体的に各自出した考えを、さらに皆で共有したのが楽しかったです。これから、もっと具体的に、取り組みたいことや、別のアイデアが発見できて、本当に良かったし、これを本当に実現できたら…と思いました。／テーマの深掘りが出来た。本日のテーマに対する準備不足があった。／今回の内容がどう町の政策、計画に生かされてゆくのか、今現在は見えない。今後、どう具体的に進めてゆくのか、どんな準備をしたら良いのかももう少し教えて欲しい。／マンダラートはじめはとっつきにくかったのですが、わかりやすく良かったです。／”猪名川に今住んでいる人が住みたいと思うようにしていこう”ということにならないとだめだと思う。みんなで深め、高めていこうという一人ひとりの心構えで生きていかないとダメだなあと考えた。 など

**第6回からでも参加頂けます。お問い合わせ・お申込みは下記まで！**

猪名川町役場企画総務部企画財政課

電話：072-766-8711 / F A X：072-766-8902 / メール：kikaku@town.inagawa.lg.jp